

こたえ 本を読むことのよさ

ひょうじゅん 標準 ⑮

	読		ま	わ	む	ら		た	鳥	す		す	よ	
	み	こ	す	く	と	れ	ま	。	の	。	ま	。	い	わ
	た	れ	。	わ	、	る	た		そ	き	ず		こ	た
	い	か		く	登	よ	、		先	よ	、		と	し
	で	ら		し	場	う	ほ		だ	う	知		が	は
	す	も		た	人	に	か		と	り	ら		た	、
	。	、		り	物	な	の		い	ゆ	な		く	本
		毎		悲	の	り	人		う	う	い		さ	を
		日		し	気	ま	の		こ	の	こ		ん	読
		少		く	持	す	気		と	本	と		あ	む
		し		な	ち	。	持		を	を	が		る	こ
		ず		っ	に	物	ち		知	読	分		と	と
		つ		た	な	語	を		り	ん	か		考	に
		本		り	っ	を	考		ま	で	り		え	は
		を		し	て	読	え		し	、	ま		ま	、

2 作文を書こう

ははじめ（考え）	本を読むとよいことがある
中①（よさ1）	知らないことが分かる
中②（よさ2）	ほかの人の気持ち
終わり（まとめ）	毎日少しずつ読む

1 組み立てメモを作ろう

- 本を読んで、よかったと思ったことはあるかな。
- 本を読むと、どんな力がつくと思うかな。
- その考えを、れいを使って書けるかな。

書く前に考えよう

225字（ますのさい後まで）を目あすに書こう。

本を読むことのよさ

本を読むと、どんなよいことがあるか、自分の考えを書こう。

考えと理由を書こう

おうちの方へ

- 「まず」「また」で、よさを分けて書けているか。
- それぞれのよさに、自分の体けんのれいがついているか。
- 作文例は一例です。ますの使い方（段落の1字下げ、行の頭に「。」「、」を書かない など）も見てあげてください。